

O2-016

5歳児個別健診での「健やか子育てガイド」の有用性と養育上の心理社会的課題

小枝 達也¹、片岡 正²、前川 貴伸³、阪下 和美⁴、
秋山 千枝子⁵、河野 由美⁶

¹ 国立成育医療研究センターこころの診療部

² かたおか小児科クリニック

³ 国立成育医療研究センター総合診療部

⁴ 東京都立松沢病院精神科

⁵ あきやま子どもクリニック

⁶ 自治医科大小児科

【目的】

5歳児の個別健診において、保護者への養育に関連する質問紙（以下、質問紙）と健やか子育てガイド（以下、ガイド）の使用の有用性を検討すること、および養育上の心理社会的課題と子どもの生活習慣や発達行動特性、親の養育困難感との関連を検討することを目的とした。

【対象と方法】

1) 川崎市小児科医会の71医療機関にて5歳児個別健診を受診した保護者と担当した医師を対象に、健やか子育てガイドを使用した感触のアンケートを実施した。2) 質問紙の回答から心理社会的課題を抽出し、子どもの生活習慣や発達行動特性、親の養育困難感との関連について、ロジスティック回帰分析を行い、オッズ比を算出した。研究は倫理審査の承認（2020-134）および保護者の同意を取得して実施した。

【結果】

1) 保護者へのアンケートでは554名のうち510名（92.0%）がガイドは役に立つと回答した。担当医へのアンケートでは38名のうち37名（97.4%）がガイドの内容は適切であると回答した。

2) 寝る直前にテレビや動画を観ますか?にいつも観ると回答した場合、オッズ比2.80で睡眠時間が6時間以下となり、またオッズ比2.56で夜中に起きることがよくあり、オッズ比1.75でお子さんに対してイライラすることが多く、オッズ比1.90でお子さんに対して怒鳴ってしまうことがあるという結果であったが、育児支援希求は高くなかった。子どもが人を叩く、ひっかくなどがあると、オッズ比1.95でお子さんにイライラすることが多く、オッズ比2.05でどなってしまうことが多く、オッズ比1.65で子育てはもう無理と感じるという結果であった。

【結論】

5歳児の個別健診において、心理社会面の評価と保健指導を標準化するために作成した質問紙とガイドの使用は、受診した保護者から集団健診と同等かそれ以上の良好な評価が得られた。質問紙の解析から、睡眠直前のTVや動画視聴と睡眠時間や中途覚醒との関連や、子どもの乱暴な行動と保護者の情緒や育児行動、育児支援希求との関連が示唆された。

O2-017

1歳6か月児個別健診での「健やか子育てガイド」の有用性と養育上の心理社会的課題

小枝 達也¹、橋本 倫太郎²、川崎 浩司³、
前川 貴伸⁴、阪下 和美⁵、秋山 千枝子⁶、
河野 由美⁷

¹ 国立成育医療研究センターこころの診療部

² 橋本小児科 ³ 用賀クリニック

⁴ 国立成育医療研究センター総合診療部

⁵ 東京都立松沢病院精神科 ⁶ あきやま子どもクリニック

⁷ 自治医科大小児科

【目的】

1歳6か月児の個別健診において、保護者への養育に関連する質問紙（以下、質問紙）と健やか子育てガイド（以下、ガイド）の使用の有用性を検討すること、および養育上の心理社会的課題と子どもの生活習慣や発達行動特性、親の養育困難感との関連を検討することを目的とした。

【対象と方法】

1) 世田谷区医師会小児科医会と玉川医師会小児科医会の43医療機関にて1歳6か月児個別健診を受診した保護者と担当した医師を対象に、健やか子育てガイドを使用した感触のアンケートを実施した。2) 質問紙の回答から心理社会的課題を抽出し、子どもの生活習慣や発達行動特性、親の養育困難感との関連について、ロジスティック回帰分析を行い、オッズ比を算出した。研究は倫理審査の承認（2020-134）および保護者の同意を取得して実施した。

【結果】

1) 保護者へのアンケートでは330名のうち327名（99.1%）がガイドは役に立つと回答した。担当医へのアンケートでは32名のうち23名（71.9%）がガイドの内容は適切であると回答した。

2) 寝る直前にテレビや動画を観ますか?にいつも観ると回答した場合、オッズ比2.94で睡眠時間が6時間以下となり、またオッズ比2.29で夜中に起きることがよくあり、オッズ比2.38でお子さんに対してイライラすることが多く、オッズ比2.74でお子さんに対して怒鳴ってしまうことがあるという結果であった。大人が困るほどのかんしゃくがあると、オッズ比2.31でお子さんにイライラすることが多く、オッズ比1.89でどなってしまうことが多く、オッズ比1.97で子育てはもう無理とは感じるという結果であった。子どもが人を叩く、ひっかくなどがあると、オッズ比2.22でイライラすることが多く、オッズ比2.15で子どもをどなることが多く、オッズ比2.36で子育てはもう無理と感じるという結果であった。

【結論】

1歳6か月児の個別健診において、心理社会面の評価と保健指導を標準化するために作成した質問紙とガイドの使用は、受診した保護者から集団健診と同等かそれ以上の良好な評価が得られた。質問紙の解析から、睡眠直前のTVや動画視聴と睡眠時間や中途覚醒との関連や、子どものかんしゃくや乱暴な行動と保護者の情緒や育児行動、育児支援希求との関連が示唆された。